

兵庫県立姫路商業高等学校×宮城県農業高等学校

二つの大震災の教訓を100年先の未来へ

～「繋ぐ・伝える・備える」命の語り部 Project～

1. 二つの大震災の教訓

多くの災害が起きている中、死者が非常に多かった大災害、阪神・淡路大震災と東日本大震災に注目しました。そこで、二人の語り部から「物は復興するけど親族を失った人の心はいつまでも復興しない…」 「今すぐできることを後回しにしないで。今は二度と戻らないから…」と聞き、「私たちにできることをしたい!!」と決意するきっかけに。



小野寺さんの東日本大震災の語り部の様子



片田さんの阪神・淡路大震災の語り部の様子

2. 二つの被災地の想いを「繋ぐ」 災害食のパンの缶詰

二つの大震災の被災地である兵庫県立姫路商業高等学校と宮城県農業高等学校が連携、後世の若者に震災の教訓を継承するため、3つの共同商品開発を実施。その1つ目が5つのコンセプトを満たした災害食のパンの缶詰「ふわ姫パン」です。この商品はエシカル消費の4つの観点（被災地支援・地産地消・食品ロス・ゴミ削減）を取り入れた災害食としています。



ふわ姫パンの商品ラベル

3. 命の語り部を伝える

2つ目の共同商品開発が阪神・淡路大震災と東日本大震災の二人の語り部のエピソードを元に作成した防災教育絵本「みらいへつなぐひかり」です。絵本に音声や点字、英訳等の工夫も取り入れ、誰一人取り残さないエシカルな絵本を作成中です。



みらいへつなぐひかりの表紙



4. 災害に備える

3つ目の共同商品開発が真空パックご飯「金の光」です。この商品は「全国食味コンテスト」で4年連続日本一に輝いた宮城県産の「金のいぶき」と東日本大震災の際に兵庫県宍粟市から寄贈した「こしひかり」をブレンド、被災地支援・地産地消を活かしたエシカルなお米にしています。



金の光の商品ラベル

5. 災害を他人事（ひとごと）から自分事に

これらの取組により、様々な新聞に掲載、兵庫県知事の定例記者会見で紹介NHKで放送されています。また、令和6年能登半島地震で被害を受けた石川県の学校にふわ姫パンと金の光を寄贈、石川県能登町を訪問し、被災者の心に寄り添った傾聴活動に取り組みました。



石川県立能登高等学校にふわ姫パンを寄贈した様子



石川県能登町での被災地ボランティアの様子

6. 二つの大震災の教訓を100年先の未来へ

国内だけの知識を得るのではなく、広い視野を持つことが必要だと気付きました。6月に世界銀行・防災グローバルフォーラムがアジア初の姫路で開催!!国内の高校生が集い、防災宣言を世界銀行に提出しました!! 7月には、海外の被災地の「心の復興」を調査するため7月にフィリピン共和国に渡航、災害の教訓を継承しました!!



イナバング北中央校とのZoom交流をしている様子